

## 会 議 概 要

会議の名称	令和6年度第2回湧別町部活動地域移行検討委員会
開催日時	令和6年12月25日（水） 18時00分 開会 19時20分 閉会
開催場所	湧別町文化センターさざ波 多目的ホール
出席者名	委員～黒川、工藤、若松、綾部、川上、今野、豊田、藤井、下田 牧村、兼田、石川、片岡、遠藤 各委員14名 教委～阿部教育長、西海谷課長、佐藤課長、澁谷室長、藤本主幹、 福本主査 6名
欠席者名	早川、豊原、畠山、黒田 各委員
傍聴人の数	なし
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 委員長挨拶</li> <li>3. 教育長挨拶</li> <li>4. 報告事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) アンケート調査の結果について</li> <li>(2) 部活動関係者との懇談会の結果について</li> </ol> </li> <li>5. 協議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 今後の進め方について</li> <li>(2) その他について</li> </ol> </li> <li>6. 次回会議の開催時期について</li> <li>7. 閉 会</li> </ol>
会議資料	令和6年度第1回湧別町部活動地域移行検討委員会議案
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 （ <input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 ） <input type="checkbox"/> 無
備考	

# てん末書

## 1 日時

令和6年12月25日(水) 18時00分～19時20分

## 2 会場

文化センターさざ波(多目的ホール)

## 3 会議及び用務

第2回湧別町部活動地域移行検討委員会

## 4 参加者

- ・検討委員：黒川委員長、工藤副委員長、若松、綾部、川上、今野、豊田、藤井、下田、牧村、兼田、石川、片岡、遠藤 各委員
- ・教育委員会：阿部教育長、西海谷課長、佐藤課長、澁谷室長、藤本主幹、福本主査  
合計20名

## 5 結果要旨

(1) 開 会 西海谷課長

(2) 委員長挨拶 黒川会長

(3) 教育長挨拶 阿部教育長

(4) 報告事項

- ・藤本主幹より説明

①アンケート調査の結果について

②部活動関係者との懇談会の結果について

### 【質疑応答】

工 藤→全て参加させてもらった感想としては、部活動の先生は熱心にやってくれていると感じた。また、指導者を探すのは非常に厳しい状況であった。しかし、指導者ばかり目を向けているので違う方向から見ても良いのではないかと。まず基本的に団体競技が多いので、経験者は湧別町に多数いる。その中で練習相手を探してみるのが一つかなと思う。広報活動で町民に周知してはどうか。指導者ばかりに目を向けるのではなく、できることから始めていくことが必要である。

西海谷→団体との協議の中では、指導することは難しい。というような意見がほとんどであった。地元の中学校あるいは高校で色んな部活動を経験されてきて、その方が地元就職をしている方もたくさんいると思う。広報やかかわらばんなどで周知していけば指導は難しいが練習相手など協力ができるという可能性も十分あることから、意見を参考にしながら、事務局の方で検討させていただきたい。

下 田→広報活動が必要である。皆さんで声をかけ合って広めていくということが大事である。

黒 川→私たち委員も積極的に町民の方に話をして広めていくことが必要である。

(てん末書用紙)

## (5) 協議事項

- ・藤本主幹より説明

### ① 今後の進め方について（教育委員会の方針）

- ・「学校部活動の地域連携として、休日は部活動指導員（外部指導者）が指導する体制を整備する。」

### ② 具体的な取り組みについて

- ・野球部、バスケットボール部については、令和8年4月1日よりスタートできるように協議を進めていく。
- ・それ以外の部活動については、町外を含めて地域の指導者が確保でき次第、関係者と協議を進めていく。

### 【質疑応答】

豊 田→私もバスケットボール部を指導させていただいて、やはり部活動というよりはクラブチームになっていくということになると思う。部活動が完全になくなるというのは難しいと感じた。どういった形が持続可能かというのは色々な方法はあると思う。いずれ部活動を学校から切り離していく。その前段階として休日の移行というのがある感じだと思う。とりあえず当面という形なのか、部活動が残る前提で考えていくのか何か現時点で考えがあったらお聞かせいただきたい。

西海谷→完全に地域移行ということは、この段階からの様子から見ても非常に厳しいという状況である。まずは休日の部分について外部指導者を入れた形で移行をしていく、それは全ての部活動が令和8年4月1日でスタートできれば良いが、今の現時点では、野球部とバスケットボール部のこの2つの部活動以外は現状として厳しい状況である。まずは現時点では部活動を残した形で地域連携といった形で当面の間は進めていきたいというふうなことで考えており、これが最終的なゴールということではないのでご理解いただきたい。

教育長→最終的には国の目指すところは、先生が言われるように必ずしも学校が担うものではないということ、はっきり国が言っていることで、この議論が始まっているということである。あくまでも地域移行というのは、最終的には地域のスポーツ振興、そして子どもたちの部活に代わるスポーツ振興ということが最終的な目的なので、そのきっかけづくりを令和8年4月1日から取り組んでいただきたいということが最初の目的である。それが今回、土曜日、日曜日からスタートしてみることが、その可能性を探る一つの形なのかなと、そういう意味ではできるところからやっていきましょう。ということで最終的に国が目指すところに行きつくのかなと感じている。

黒 川→地域移行としては、受け皿もない指導者もないということが課題で難しい問題だと思うが、きっかけづくりとして野球部やバスケットボール部については、前進できるのかなと思う。

教育長→先生方のアンケートのデータでは90%以上の方が土日の地域移行を強く望んでいるところもある。そして地域の方も関わってみたいというところが今後、少しでも地域移行になっていく材料なのかなと感じている。

工 藤→方針がぼんやりしている。平日と休日を切り離すというのが国の方向性は分かるが、湧別町としての方向性というものを具体的に出していかないと進んでいけな

(てん末書用紙)

いのかなと思う。部活ありきで進めていく方針であるが、そこに何をしていくかというのを作っていかなければならない。例えば、部活支援員とかそういったサポートスタッフみたいなものを作るのが一つかと思う。送迎ができるなど協力できるところがあると思う。練習相手を探すとかそこからまず探してみてもいいのかなと思う。そのためには広報が一番重要である。それによってどれだけ練習相手になってくれるとか。もしかしたら指導者としてやってみたいとかの気持ちに変わっていく可能性もあると思う。まずは何ができるかというのを考えていった方がいいのかなと思う。

黒 川→方向性が見えないぼんやりだというのはあると思うが、部活動によって違うと思う。体育会系と文化系とは違う部分があるので、なかなか一つの方向性というのは、難しいのではないか。それぞれの部活動において何が必要なのかという協議をしていかなければならない。

綾 部→今は国の方で移行ありきではなく、「地域展開」というふうに名称変更になりそうな話が有識者会議で話し合われており、それを受けてスポーツ庁から移行でなくて「展開」としていかどうか検討するような運用になってくると思う。まさに今委員長から話しがあったように移行ありきというよりは色んな形、その種目ごとに一番適した形というのを探していく方向性になっていくのかなと感じているところであり、国の方向性として照らした時に現段階の方向性としては良いと思う。

下 田→指導や協力いただける方の交通費や保険、送迎などを手伝う方に対しての保障があれば安心して携われると思う。熱い思いで一生懸命やっている指導者がいるので考えて欲しい。

西海谷→現段階でははっきりと示していくことはできないが野球部やバスケットボール部については、今後も継続して協議進めていく形である。それまでにどういった形で対応できるか内部でも調べた中で検討させていただいた中でお示しをしていきたい。

下 田→そこに手伝ってくれる新しい指導者を育てようと思った時にせめて保障してあげなければならぬと考えている。持続可能ということであれば、指導者を育てることはもちろん大事である。

遠 藤→吹奏楽に携わっているが、吹奏楽の部費で賄うということなのか。

教育長→地域移行になった場合には学校の部活動としてではなくて、地域のスポーツという観点から言えば、町のスポーツ振興ということを考えて場合、行政の支援も当然考えていかなければならない。しかし、一定程度の負担など協力いただく部分も出てくると思う。

遠 藤→吹奏楽はコンクールが近くなった時に外部講師を呼んだりして見てもらっている。個人で見てもらった時は大体いくらということで徴収しているが、部活動のためそういうものは対象になるのか。

黒 川→現在、コンクールが近くなったら先生とのつながりで外部講師を呼んだ場合の費用はどこから出ているのか。

遠 藤→部費で足りない部分は一人いくらとかで徴収している。しかし、部費も段々値上がりして楽器によって値上がりしているものがあるため、外部講師を呼ぶのも数回しか呼べない感じになってしまう。

(てん末書用紙)

片岡→楽器を運ぶのにトラックを借りることも経費がかかる。そういったところも実際、部費で今まで賄っていたものが追加徴収しなければならない。平日は顧問の先生が指導し、土日は専門的な指導者にお願いするのが一番の目標かと思う。

黒川→地域移行になった場合、行政としても支援はしていく考えであるが、どこまでというのは今の段階では分からない。外部講師の謝礼やトラックの経費の費用がかかるのは良くわかる。

教育長→今言われているのはあくまでも現行の部活動の話であり、区分けが必要である。教育委員会としても活動の支援をさせてもらっている。外部指導や遠征費、楽器の部分も支援させてもらっているので、すみ分けをしていただき、ご理解いただきたい。

#### (6) その他について

- ・ほっかいどう部活動地域クラブ活動サポーターバンク→藤本主幹説明

#### (7) 次回会議の開催について

- ・令和7年5月頃に開催予定であるが、その前に部活動の地域移行について町民に広報周知する必要があり、内容については、事務局に一任していただくこととした。

#### (8) 閉会

# 令和6年度第2回 湧別町部活動地域移行検討委員会議案

日 時：令和6年12月25日（水）  
午後6時00分より  
会 場：湧別町文化センターさざ波

## 1. 開 会

## 2. 委員長挨拶

## 3. 教育長挨拶

## 4. 報告事項

(1) アンケート調査の結果について

別紙資料

(2) 部活動関係者との懇談会の結果について

別紙資料

## 5. 協議事項

(1) 今後の進め方について

### 【教育委員会としての方針】

学校部活動の地域連携として、休日は部活動指導員（外部指導者）が指導する体制を整備する。

### 【具体的な取り組み】

- ① 野球部、バスケットボール部については、令和8年4月1日よりスタートできるように協議を進めていく。
- ② それ以外の部活動については、町外を含めて地域の指導者が確保でき次第、関係者と協議を進めていく。

(2) その他について

## 6. 次回会議の開催時期について

## 7. 閉 会

湧別町部活動地域移行検討委員会委員名簿 (◎委員長 ○副委員長)

任期：令和5年10月26日～令和8年3月31日

(太字の3名は令和6年4月26日～)

No	区分	住所	氏名	役職等
1	1号委員 (学校教育関係者)	湧別町錦町 186 番地の 19	<u>若松 征一</u>	ゆうべつ学園校長
2		湧別町北兵村一区 592 番地の 1	綾部 雅一	上湧別中学校校長
3		湧別町芭露 450 番地の 1	川上 智広	芭露学園校長
4		湧別町中湧別南町 844 番地の 1	<u>今野 博友</u>	湧別高等学校校長
5		湧別町中湧別南町 915 番地	早川 大介	中湧別小学校校長
6		湧別町錦町 266 番地の 2	豊原 隆之	ゆうべつ学園教頭
7		遠軽町西町 3 丁目 4 番地 25	豊田 修司	上湧別中学校教諭
8		湧別町芭露 450 番地の 1	藤井 陽平	芭露学園教諭
9	2号委員 (スポーツ・文化活動関係者)	湧別町中湧別南町 902 番地の 1	◎黒川 隆	体育協会会長
10		湧別町北兵村一区 97 番地の 35	下田 英人	スポーツ少年団本部長
11		湧別町北兵村三区 513 番地の 13	牧村 宣幸	スポーツ少年団事務局長
12		湧別町栄町 145 番地	畠山 智光	野球少年団指導者 (湧別マリナーズ)
13		湧別町上湧別屯田市街地 53 番地の 26	兼田 真一	サッカー少年団指導者 (FC Miragross Jr.)
14		湧別町錦町 186 番地の 14	石川 克巳	スポーツ推進委員長
15		湧別町中湧別南町 1011 番地の 14	片岡 幸生	文化連盟理事 上湧別吹奏楽団代表
16	3号委員 (有識者)	湧別町登栄床 349 番地	○工藤 雄希峰	社会教育委員
17		湧別町栄町 35 番地の 16	遠藤 道代	前ゆうべつ学園 P T A 会長
18		湧別町中湧別東町 352 番地の 1	<u>黒田 まどか</u>	上湧別中学校 P T A 役員

## 学校部活動関係者との懇談会の結果について

NO	部活動名	ゆうべつ学園、芭露学園	マリナーズ、野球連盟	結 果
1	野球部	<p>上湧別中学校、ゆうべつ学園、芭露学園、佐呂間中学校と合同チームを組んでおり、ゆうべつ学園は今のところ部員がいないが、新入生が入ってくるため、4月以降は活動できる。</p> <p>新たに町内単独で地域クラブにすると、佐呂間中学校と合同チームが組めなくなってしまう。</p>	<p>新たに地域クラブを立ち上げてはどうか。地域の指導者と先生方にも指導者として携わって欲しい。</p> <p>地域の指導者同士グループ化してスケジュールを調整し、外部指導者として都合が良い時に指導してもらってはどうか。</p>	<p>地域クラブを立ち上げについて意見があったものの、人数が少ないため、町内だけではチームが組めないこと。さらに、佐呂間中学校と合同チームを組んでおり、地域クラブにした場合、合同チームで中体連に出場できないことから、地域クラブは難しい状況である。</p> <p>学校部活動に地域の方が外部指導者として指導いただける可能性があるため、今後も協議を進めていく。</p>
NO	部活動名	上湧別中学校、ゆうべつ学園	ミニバスケットボールクラブ	結 果
2	バスケットボール部	<p>上湧別中学校とゆうべつ学園で合同チームを組んでおり、休日は合同で練習し、平日はそれぞれの学校で練習をしている。</p> <p>私たちがいる間は頑張りたいが、転勤した場合、同じような教員が来るかどうか分からないため、持続可能にしていくためには地域の方の助けが必要と感じている。</p>	<p>ミニバスケットボールクラブでは3名体制で指導しているが、土・日のほとんどで練習試合が組まれており、部活動を引き受けるのが難しい。</p> <p>しかしながら、ゆうべつ学園と上湧別中学校の体育館が2つあるため、同じ時間帯にミニバスと中学生が分かれば、指導できる可能性がある。</p>	<p>休日に月数回の指導ができる可能性があるため、今後、こういった形であれば指導できるのかミニバス内で検討し、次回案を出してもらおうこととした。</p> <p>学校部活動に地域の方が外部指導者として指導いただける可能性があるため、今後も協議を進めていく。</p>



NO	部活動名	ゆうべつ学園	上湧別吹奏楽団	結 果
3	吹奏楽部	パートの指導や楽器のメンテナンスの相談など様々な面で生徒に関わっており、特にコンクールは金賞を取るために日常的に子ども達に付いて指導する必要がある。コンクールなどの時期が間近でなければ、月1回でも見てくれるのであれば助かる。	上湧別吹奏楽団は普段は遠軽吹奏楽団で活動している。指導は難しいが一緒に演奏したりする程度であれば協力できる。	遠軽吹奏楽団の団長にも部活動の地域移行について情報を共有し、指導や協力できる方がいれば、情報提供してもらうこととした。
NO	部活動名	上湧別中学校	テニス協会	結 果
4	ソフトテニス部	部活を担当している教員が4人いるため、お互いカバーし合いながら指導している。土・日のどちらかを地域の指導者が指導してもらえれば助かる。教員は転勤があるため、できれば地域の方に育ててもらいたい。	趣味で活動している団体であり、会員が減っている。硬式と軟式の違い（ラケット、ボール）もあり、指導や協力は難しい状況である。	地域に指導や協力できる方がいれば、情報提供してもらうこととなっている。遠軽町にソフトテニス協会があるため、指導や協力ができる方がいないか情報収集中。
NO	部活動名	上湧別中学校、ゆうべつ学園	上湧別バレーボール少年団、上湧別バレーボール協会	結 果
5	女子バレーボール部	現在、上湧別中学校、ゆうべつ学園は合同チームを組んでおり、休日は合同で練習し平日はそれぞれの学校で練習をしている。大会が近くなると平日も一緒に練習したいが、送迎が難しい状況である。顧問は2人ずついるため、交代してわりと休みが取れている。	上湧別バレーボール少年団の指導者は3名いるものの、仕事を抱えている中で部活動の時間帯に指導に行くことは難しいし、少年団で指導するのが手一杯である。少年団の練習の時間帯に保護者が体育館に連れてきてくれれば、一緒に練習することも考えられるが、生徒と保護者がどう思うのか。保護者にとっては、学校で部活動をやることがニーズが高いのではないかと。	外部指導者も含め、地域移行は難しい状況である。指導や協力ができる方がいれば、情報提供してもらうこととなっている。

NO	部活動名	上湧別中学校、ゆうべつ学園	FCミラグロスJr.	結 果
6	サッカー部	<p>上湧別中学校は3年生が引退し、現在部員がいないため休部となっている。2年間入って来なければ廃部となる見込み。ゆうべつ学園8年生の生徒が1人いるがオール湧別で上湧別中学校で活動していたため、現在活動していない。その他、ゆうべつ学園から2人が紋別市のクラブチームに通っている。</p>	<p>ミラグロスJr.に加入している町内の子どもは13名で、佐呂間町と滝上町のサッカー少年団も一緒にミラグロスJr.に登録し、公式戦や練習試合はミラグロスJr.として活動している。月2回合同で練習している。</p>	<p>上湧別中学校は休部となっており、2年間入って来なければ廃部となる。地域クラブを立ち上げたとしても大会に出場するためには11人が必要で、町内単独ではチームが組めないこと。少年団の指導者一人で中学生と少年団とかけもちで指導することは難しい状況であった。</p>

運動・スポーツ

&

文化・芸術

ほっかいど

部活動

地域クラブ活動

サポーターバンク

はじまるよ  
部活動の  
地域移行

フリー素材ばくたそ (www.pakutaso.com)

中学生・高校生のスポーツ・文化活動に皆さんの力をお貸してください。

北海道教育委員会では、道内の公立学校で行われる「部活動」や、各地域で部活動に代わって行われる「地域クラブ活動」の指導者の候補者として登録していただける方（サポーター）を募集しています。

「スポーツや文化活動の指導経験がある方」、「競技や文化活動等の経験があり指導が可能な方」は、北海道の子どもたちのために、登録をご検討ください。

ご登録はこちらから

<https://www.harp.lg.jp/qMnIAJEu>

フォームへの入力難しい場合のみ、道教委のHPから様式をダウンロードし、郵送又はFAXにて送信してください。



## ほっかいどう部活動/地域クラブ活動サポーターバンクとは

道内の市町村立中学校等や道立学校において、**部活動指導員**や**外部指導者**として「部活動」の指導等を行っていただける方、中学校の部活動の代わりに各地域で行われる「**地域クラブ活動**」の**指導者**として活躍いただける方を名簿に登録し、市町村教育委員会や学校、地域クラブの求めに応じて情報提供します。



### 学校部活動における指導者

#### 部活動指導員

- ・学校教育法施行規則に定められた学校職員（非常勤）
- ・校長の監督の下、顧問として部活動指導や大会引率等を行います。
- ・報酬※が支払われます。
- ・勤務条件は市町村や学校により異なります。

※道立学校の場合：1,600円/時間

#### 外部指導者（外部コーチ）

- ・顧問の教員とともに、技術指導等を行います（単独での指導は原則行いません。）。
- ・報酬等の有無、勤務条件等は市町村や学校により異なります。



#### 地域クラブ活動指導者

- ・学校部活動の代わりに地域で行われるスポーツや文化活動の指導を行います。
- ・中学生への指導が基本ですが、多世代が参加するなど、地域によって多様な形態があります。
- ・勤務条件は活動の実施主体となる各団体の規定に基づきます。

## 応募資格

- ・道内の中学校等や道立学校における部活動のほか、地域クラブ活動での指導等が可能な方（**登録の段階では、教員免許状や競技等の指導資格などの要件は設けておりません。**）
- ・地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条及び学校教育法（昭和22年法律第26号）第9条の欠格条項に該当するなど、社会通念に照らし、指導者として不適切と認められる方は登録できません。

※ 公立学校教員が、**地域クラブ活動の指導者として任用されるためには、所属する学校の設置者である教育委員会から兼職兼業の許可を得る必要があります。**

## 留意事項

- ・登録情報については、サポーターを選考、任用する目的のため、北海道教育委員会のほか、関係市町村教育委員会や学校、地域クラブで共有します。目的外での使用は一切いたしません。
- ・登録者が必ず任用されるわけではありません。
- ・本サポーターバンクに関するより詳しい情報は、下記のホームページを御覧ください。

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gkk/supporterbank.html>

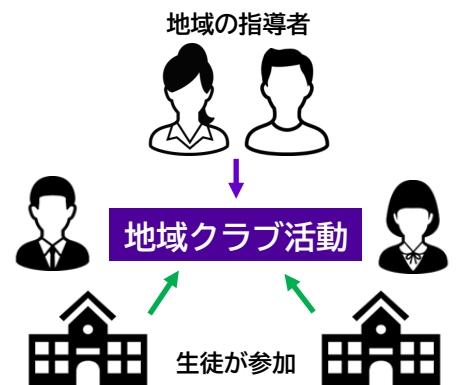


## 部活動の地域移行とは・・・

学校の部活動は、子どもたちにとって、スポーツや文化芸術等の活動機会であるとともに、貴重な人間形成の機会ですが、少子化による生徒数の減少に伴い、活動に必要な部員数を維持できないなど、全国的に部活動の継続が難しくなっています。

このような状況を受け、国は令和5年度から公立中学校の休日の部活動を段階的に地域の活動（地域クラブ活動）へ移行する方針を示しており、北海道においても各地域で検討が進められています。

地域クラブ活動の実施主体は、行政のほか、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ・文化団体、民間事業者、大学、クラブチーム、地域学校協働本部等多様な主体が考えられ、地域の実情に応じて体制が整備されます。



ほっかいどう部活動・地域クラブ活動サポーターバンク登録者内訳【総括】

種目	道全体	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホ	十勝	釧路	根室	計
野球	9	6	40	2	5	0	6	2	8	1	0	2	6	3	2	92
ソフトボール	3	1	6	0	2	0	3	1	1	0	0	1	5	1	0	24
サッカー	5	6	25	3	2	1	8	2	9	2	0	3	2	0	0	68
バスケットボール	5	4	30	2	4	3	2	2	5	2	1	1	1	2	0	64
バレーボール	4	6	24	0	6	2	3	1	2	1	0	0	2	1	0	52
テニス（ソフトテニス）	2	0	12	1	5	0	3	1	1	0	0	1	2	2	0	30
卓球	2	1	5	0	0	0	6	1	1	1	0	0	0	2	0	19
バドミントン	5	5	13	0	4	0	4	3	5	1	3	3	1	2	0	49
ラグビー	1	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	2	1	0	0	9
体操	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
水泳	3	0	2	0	0	0	2	1	1	1	1	2	2	0	0	15
ダンス	2	1	2	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	9
スキー	2	5	10	3	0	0	3	1	5	2	1	1	4	0	0	37
スノーボード	1	2	4	0	0	0	2	1	2	0	0	0	2	0	0	14
スケート	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
アイスホッケー	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	4
スケートボード	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
陸上	4	2	11	5	3	0	2	1	4	3	1	0	3	2	0	41
柔道	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4
剣道	0	2	5	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	13
弓道	1	0	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	9
空手	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
少林寺拳法	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
吹奏楽	11	11	19	9	7	4	5	6	8	4	4	6	4	3	3	104
合唱	3	3	9	2	3	1	2	3	2	1	1	1	1	1	1	34
茶道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
華道	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
美術	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
書道	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
その他	10	10	27	5	7	3	1	1	3	1	3	5	5	5	4	90
計	74	65	259	33	51	14	69	28	60	21	15	30	44	27	12	802

※ 複数回答のため、数字は延べ人数

その他の内容	人数	その他の内容	人数	その他の内容	人数	その他の内容	人数
プログラミング	1	アーチェリー	2	ボランティア	2	文芸	1
パソコン	1	馬術	1	ノルディックウォーキング	1	手芸	1
カメラ	1	ゲーム	1	イラスト	1	アニメ	1
マンガ	1	相撲	2	軽音楽	2	登山	1
ボッチャ	1	写真	2	囲碁	1	管弦楽	1
演劇	6	ドローン	1	将棋	2	ハンドボール	4
リコーダー	1	和太鼓	1	放送	1	フットサル	2
クイズ研究会	1	英会話	1	琴・三味線	1	スラックライン	1
コンディショニング	1	自転車	1	合気道	1	フィジカルトレーニング	1
ボクシング	1	料理	1	ボードゲーム	1	競技数学・データサイエンス・数学研究	1